牛肉情勢

6月12日 更新　JA全農ミートフーズ株式会社

項目 ｜ 内容 ｜ 備考

供給

1.国産

○ 4月の成牛と畜頭数は、96.5千頭(前年比103.6%)と前年を上回った。
内訳を見ると、和牛:46.6千頭(前年比107.6%)、交雑牛:22.3千頭(同94.4%)、乳牛去勢:11.3千頭(同100.4%)となった。

○ 5月の成牛と畜頭数は、速報値(5月31日まで集計)で87.0千頭(前年比102.8%)と前年を上回る見込みとなった。

○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(5月29日公表)によると、5月の出荷頭数は、乳用種で減少するものの、和牛、交雑種で増加が見込まれることから、前年を上回ると予測する。
6月は、全品種で減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する。
(5月 87.2千頭(前年比102.3%)、6月 83.6千頭(同94.0%))
そのため、3か月平均(4月～6月)では、出荷頭数89.2千頭(前年比99.8%)、生産量28.7千ﾄﾝ(同100.1%)と前年並みの予測となっている。

2.輸入

○ 4月の輸入通関実績は、全体で63.2千ﾄﾝと前年を下回った(前年比93.1%、前月比164.8%)。
内訳ではチルド:18.2千トン(前年比86.2%、前月比100.1%)、フローズン:45.0千ﾄﾝ(前年比96.2%、前月比223.1%)となった。
輸入相手国別では、チルドはニュージーランドが増加したが、他の主要国は減少した。フローズンは豪州、ニュージーランドが増加し、米国、カナダ、メキシコは減少した。
(参考:形態別相手国別輸入数量)
チルド　　:豪州8.8千ﾄﾝ(前年比98.8%)、米国7.9千ﾄﾝ(同74.6%)、ニュージーランド0.7千ﾄﾝ(同267.0%)、カナダ0.5千ﾄﾝ(同74.2%)、メキシコ0.1千ﾄﾝ(同45.7%)
フローズン:豪州21.2千ﾄﾝ(前年比116.9%)、米国14.4千ﾄﾝ(同85.3%)、カナダ4.9千ﾄﾝ(同67.6%)、ニュージーランド3.0千ﾄﾝ(同116.6%)、メキシコ0.9千ﾄﾝ(同65.3%)

○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、国内需要が低迷する中、5月は現地相場の高騰等により、米国産の減少が見込まれる一方、前年同月の豪州産輸入量が少なかった事から前年同月を上回ると見込んでいる。6月は、米国産の減少が見込まれる事から前年同月を下回ると見込んでいる。フローズンは米国産の減少が見込まれる事から5月、6月ともに下回ると見込んでいる。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。
令和6年 5月　合計:45.1千ﾄﾝ(前年比97.1%)、チルド:16.8千ﾄﾝ(同104.4%)、フローズン:28.3千ﾄﾝ(同93.4%)
令和6年 6月　合計:42.8千ﾄﾝ(前年比98.0%)、チルド:15.9千ﾄﾝ(同96.4%)、フローズン:26.9千ﾄﾝ(同99.2%)
直近3か月(4月～6月)平均 合計:50.3千ﾄﾝ(前年比95.4%)、チルド:16.8千ﾄﾝ(同93.9%)、フローズン:33.5千ﾄﾝ(同96.4%)

需要

1.家計消費

○ 総務省発表の4月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり牛肉購入量は450g(前年比92.8%)、支出金額が1,602円(同91.1%)となり、
購入量、支出金額ともに前年を下回った。(※2019年度同月比:購入量 78.9%、金額 93.2%)

2.小売動向 4月概況

○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の4月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,182.9億円(前年比98.9%、既存店ベース97.8%)と前年を下回った。
前年に比べ週末が少なく、降水量も多かった影響に加え、牛肉・豚肉の相場が高止まりし、価格が安定している鶏肉への需要シフトが顕著となり、単価が下落し不調となった。円安の影響で輸入牛・豚の価格が高騰し、国産肉の動きが堅調となった。
牛肉は、ステーキや焼肉焼商材等も不調。豚肉は、小間切れやひき肉など値ごろな商材以外の動きは鈍かった。鶏肉は、相場が安定しており好調に推移。加工肉は値上げの影響で不振とする店舗が多い。

○ 日本チェーンストア協会が公表した4月販売概況によると、畜産品の売上は819.9億円(店舗調整後で前年比99.9%)となり、前年並みとなった。
鶏肉の動きは良かったが、牛肉、豚肉の動きは鈍かった。鶏卵、ハム・ソーセージの動きは鈍かった。

3.外食 4月概況

○ 日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査4月度結果報告によると、桜の開花が遅れたことで花見需要が昨年より増え、春の歓送迎会の後押しもあり、全体売上は前年比106.0%、2019年比では115.1%となった。各地で国内外からの観光客の消費は活発であったが、物価高騰が続き、低価格重視の消費志向が高まる傾向にあり、売上は伸びたが利益が伴っていない。

業態別;	前年比・2019年度比	
①ファーストフード	前年比105.4%、2019年度比128.6%	販促キャンペーンやお得メニューの充実、高付加価値メニューで夕食需要が高まり、好調となった。
②ファミリーレストラン	前年比107.0%、2019年度比106.1%	客単価の増加や歓送迎会や花見需要があり好調だったが、焼肉店は、昨年より休日数が減少し来客数は減少した。
③ディナーレストラン	前年比103.5%、2019年度比 95.8%	花見需要のずれ込みで、訪日外国人客をはじめとした来客数と客単価が増加し、好調となった。
④居酒屋	前年比105.0%、2019年度比 64.4%	週末の天候不順が多少影響したが、人流の回復傾向や年度初めの歓送迎会の需要があり、好調となった。

4.輸出

○ 4月の輸出実績は779.0ﾄﾝ(前年比105.5%)と前年を上回った。台湾向け(210.4ﾄﾝ、前年比132.5%)、米国向け(102.5ﾄﾝ、前年比108.9%)は前年を上回ったが、
香港向け(119.7ﾄﾝ、前年比99.8%)は前年並みとなった。また、カンボジア向け(95.2ﾄﾝ、前年比91.8%)は前年を下回り、不安定な状況が続いている。

在庫

1.在庫

○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、4月末の推定期末在庫量は136.0千ﾄﾝ(前年比84.9%、前月比109.4%)と前年を下回った。
内訳は、輸入品;124.2千ﾄﾝ(前年比84.0%、前月比111.7%)、国産品;11.8千ﾄﾝ(同95.7%、同90.1%)となり、輸入品は前年実績を下回った。
なお、今後の期末在庫の推移は、5月末;140.9千ﾄﾝ(同87.7%)、6月末;140.6千ﾄﾝ(同87.7%)と、5月、6月ともに前年を下回ると見込まれている。

枝肉相場

1.R6年5月 速報値

○ 5月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;5月31日時点)は、和牛去勢A5が2,468円(前年比96.4%)、A4が2,122円(同94.9%)、交雑去勢B3が1,581円(同105.0%)、
乳牛去勢B2が991円(同105.1%)であった。

○ 5月は、GW需要の反動により需給が緩み和牛は前年・前月ともに下回った。交雑牛は和牛代替需要が継続しているものの、和牛と同様にGWの反動により需給が緩み前年を上回ったが、前月は下回った。乳牛去勢牛は、輸入牛肉の高騰等による代替需要に加え、「母の日」やホテル向け需要等から需給が引き締まり前年・前月を上回った。

2.R6年6月 予測

○ 6月は、祝日がなく「父の日」以降はイベントに乏しいことに加え、梅雨入りにより消費が減退する季節となることから、和牛・交雑牛ともに弱含みで推移するものと見込まれる。
一方、乳牛去勢牛は、輸入牛肉の高騰や輸入量の減少等から代替需要は底堅いものの、和牛・交雑牛同様に消費が減退する季節となることから弱含みでの推移を見込む。

◎ 枝肉相場予想:東京市場【税込】	4月実績	5月速報値	6月予測	7月予測
・和牛去勢 「A-5」:	2,494円 (95.3%)	2,468円 (96.4%)	2,450円 (95.6%)	2,400円 (95.4%)
・和牛去勢 「A-4」:	2,166円 (93.0%)	2,122円 (94.9%)	2,100円 (96.5%)	2,100円 (98.4%)
・交雑去勢 「B-3」:	1,605円 (106.4%)	1,581円 (105.0%)	1,550円 (106.7%)	1,550円 (101.3%)
・乳牛去勢 「B-2」:	926円 (85.8%)	991円 (105.1%)	950円 (104.1%)	950円 (104.9%)

部分肉相場

1.R6年6月 予測

◎ 首都圏仲間価格【税抜】 【和牛:4等級】		【ホルス:2等級】		【交雑牛:3等級】	
・和牛カタセット(スネなし)	3,000円	・ホルスカタセット(同)	1,850円	・交雑牛カタセット(同)	2,300円
・和牛ロースセット(ヒレなし)	5,800円	・ホルスロースセット(同)	3,500円	・交雑牛ロースセット(同)	4,800円
・和牛モモセット(スネなし)	3,500円	・ホルスモモセット(同)	1,800円	・交雑牛モモセット(同)	2,300円
・和牛トモバラ	2,000円	・ホルストモバラ	1,250円	・交雑牛トモバラ	1,500円

備考

○国内生産量の推移(単位:千頭・%)

暦年	和牛計		交雑牛計		乳牛去勢計		成牛計	
	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比
R2年	477.2	104.2	227.8	96.2	161.6	96.2	1,047.1	100.8
R3年	483.1	101.2	228.9	100.5	154.5	95.6	1,054.6	100.7
R4年	490.2	101.5	248.6	108.6	140.8	91.4	1,083.1	103.0
R5年	506.7	103.5	262.1	105.5	131.5	93.5	1,098.7	101.7
R6年 1月	39.3	109.1	20.0	99.8	10.2	97.4	85.2	101.7
R6年 2月	38.9	108.0	19.8	100.8	10.4	96.8	83.9	101.3
R6年 3月	41.7	102.8	21.0	96.0	10.8	96.4	89.6	96.6
R6年 4月	46.6	107.6	22.3	94.4	11.3	100.4	96.5	103.6

※成牛計は、乳牛雌やその他品種も含まれるため数字が一致しない

○輸入量の推移(単位:千ﾄﾝ, %)

暦年	輸入数量合計		チルド数量		フローズン数量	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
R2年	600	97.6	262	95.1	339	99.5
R3年	585	97.4	264	100.9	321	94.7
R4年	560	95.4	217	83.0	343	104.3
R5年	504	90.9	199	92.6	305	91.3
R6年 1月	43.3	108.4	17.0	105.5	26.3	110.3
R6年 2月	31.0	81.6	12.5	94.0	18.5	75.0
R6年 3月	38.4	104.3	18.2	102.3	20.2	106.2
R6年 4月	63.2	93.1	18.2	86.2	45.0	96.2

＊財務省:
通関実績

○総務省:家計消費量(ｸﾞﾗﾑ, 円, %)　　○輸出量の推移(単位:ﾄﾝ、%)

ri

暦年	全国1世帯当り				チルド数量	フローズン数量	合計	前年比
	数量	前年比	金額	前年比				
R2年	7,199	109.8	23,677	111.8	2,341	2,503	4,845	111.6
R3年	6,748	93.7	23,210	98.0	3,490	4,388	7,879	162.6
R4年	6,232	92.4	22,355	96.3	3,737	3,717	7,454	94.6
R5年	5,867	94.7	21,451	95.9	4,222	4,199	8,421	113.0
R6年 1月	452	92.1	1,752	98.3	289.5	313.3	602.8	139.8
R6年 2月	413	93.4	1,522	97.9	368.7	325.8	694.5	108.3
R6年 3月	467	100.2	1,704	106.8	437.9	333.3	771.2	100.8
R6年 4月	450	92.8	1,602	91.1	442.0	337.0	779.0	105.5

○市況の推移: 東京市場(税込み、単位:円/kg、%)

暦年	和牛去勢A-5		和牛去勢A-4		交雑牛去勢B-3		乳牛去勢B-2	
	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比
R2年	2,459	90.0	2,103	87.3	1,398	85.9	924	91.0
R3年	2,702	109.9	2,427	115.4	1,554	111.1	1,004	108.6
R4年	2,607	96.8	2,348	96.9	1,523	98.1	1,042	102.4
R5年	2,558	98.1	2,202	93.8	1,474	96.8	878	84.3
R6年1月	2,595	101.6	2,315	101.0	1,515	103.2	866	93.9
R6年2月	2,578	102.7	2,255	103.0	1,545	112.8	845	92.6
R6年3月	2,530	98.1	2,179	96.6	1,546	107.3	877	94.4
R6年4月	2,494	95.3	2,166	93.0	1,605	106.4	926	85.8
R6年5月速報値	2,468	96.4	2,122	94.9	1,581	105.0	991	105.1

農水省食肉流通統計
(速報値は農畜産業振興機構が公表する東京市場の平均枝肉価格)